

在学生4人組のバンド「セパン」の熱いライブ



2025 石 鳳 祭

10月11、12日、本学キャンパスで大学祭「2025石鳳祭」が開催された。メインステージではダンス愛好会や現代芸術研究会のステージのほか、豪華ゲストによるライブが行われた。ゼミやサークルによる教室企画や模擬店、石巻地域をはじめとする宮城県、グルメを堪能できる地場産品フェアも開催され、会場内は多くの人でにぎわった。今年のテーマ「黎明」にふさわしい新時代を開く2日間となった。

石巻専修大学

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。



黎明



ダンス愛好会のステージ
大盛り上がりを見せた抽選会



生物科学科サイエンスフェス



海洋ベントス学研究室のワークショップ

ゼミやサークルによる模擬店



本学多目的グラウンドで行われた熱戦



石巻専修大学 初開催
U-15サッカーフェス
初代王者は河南東中

地域と大学が一体となり、サッカー文化の発展と若者の育成に貢献する「石巻専修大学U-15サッカーフェスティバル2025」が10月11、12の両日、本学多目的グラウンドとセイホクパーク石巻で開かれた。宮城県内の中学校やクラブチームなど12チームが出場。河南東中学校（石巻市）が初代王者に輝いた。

昨年4月に新設された本学サッカー部は、地域の子どもたちへの運動支援や大会でのボランティア活動など、社会貢献にも積極的に取り組んでいる。新たな試みとして、石巻地区中学校体育連盟（サッカー部会）の協力で今大会を初開催した。大会運営には部員に加えて、人間学部の学生も参加。地域と連携した実践的な学びの場ともなった。

好評 いしのまき祭り

石巻体感イベント 東京で開催

石巻市の魅力を東京で体感できるイベント「いしのまき祭り」が10月26日、専修大学神田キャンパス（東京都千代田区）で開催された。この催しは2023年に始まり、今年で3回目。300人以上が来場し、石巻専大生28人と専大生37人が企画したワークショップや展示、物産品店、飲食物のふるまいなどを通して「石巻」を満喫した。



来場した松木健一理事長(右)に石巻の特産品を紹介する学生

ふるまいコーナーで、サツマイモのデザートを提供する「カフェ芋娘」を企画したのは富澤凛咲さん（宮城県桜坂高）ら経営学部2年次の4人。石巻の食材として牡蠣半島の南西にある網地島の特産品サツマイモに着目した。潮風を受けて育ったサツマイモは糖度が高く、その甘



本格的な焼きいもを提供
スイーツポテト



みを生かした焼きいも、スイーツポテト、フリュレを考案した。富澤さんは「現地を訪問して農家の方に話を伺い、おいしさを伝えたいと思った。手に持って食べること

を意識してメニューを考えた。おいしいという声を聞き、やって良かった」と話し、自分たちで一つの企画を成功させたことに「新しい一歩を踏み出すことができた」と充実した表情だった。

他にも、地域ブランド・FUNA DEと協働したカラビナ作りワークショップ、一般社団法人カイトクとコラボした物産品店、学生が制作したみやぎふるさとCM大賞のエントリー作品上映などがあった。

ワークショップを担当した櫻井康生さん（人間1・秋田県秋田北鷹高）は、「ものづくりを楽しんでもらうために、分かりやすく伝えることを心掛けた。子ども連れで参加する方も多く、自分が小学校教諭を目指す上でもっともいい経験になった。さまざまな人と交流することができて楽しかった」と振り返った。



ワークショップをPR

わくわくチャレンジ 算数・科学の面白さ 小学生に伝える



算数トライアスロンで問題の解き方をアドバイスする学生

小学生に算数や科学の面白さを体験してもらう「わくわくチャレンジ」が10月12日、本学学生ホールなどで行われた。小学1～6年生とその保護者計40人が参加し、同日開催の石鳳祭と併せて楽しんだ。

イベントは、「算数トライアスロン」と「サイエンスフェス・ツアー」の二本立て。小学校の先生を呼び、ヒントを出したりする

など、学生たちが優しくサポートした。サイエンスフェス・ツアーは、生物科学科が石鳳祭に出展している各ブースを巡るツアー。珍しい生き物の観察や骨格標本展示など、内容は盛りだくさんで、子どもたちは学生や教員の解説に熱心に耳を傾けていた。

入試相談会

事前予約制

11/23 日・祝

【13:00～15:30】

プログラム

- 理工学部新学科説明会
- キャンパスツアー
- なんでも入試相談
- パネル展示



【詳細・予約】